

## 官業民営化等WGの進め方等について

H16.5.20  
鈴木 良男

### 1. 官業民営化等WGの進め方

今後3年間の課題として官製市場（国・地方の事務・事業及び公物管理を含む）の民間開放をテーマとして検討を進めていくためには、まずは、民間開放の対象として検討し得る事項を網羅的に抽出することが必要であり、7月の中間とりまとめに向け、これを早急に行っていく。

具体的には、当WGにおいて、査定官庁の意見を踏まえ、抽出基準を作成した上で、当該基準に当てはまる全ての行政事務・事業を各省より提出させる。

これらについて、横断的手法WGと連携を密にしつつ、当WGにおいて精査し、民間開放の対象として検討すべき事項を確定する。

なお、全体的には上記のように検討を進めていくが、個別事案によっては、別途、検討を集中的に進めることも考えられる。

（想定スケジュール）

5月下旬 抽出基準の検討・確定

6月上中旬 各省照会

6月下旬 検討事項の精査（必要に応じ各省ヒアリング）

7月上旬 中間とりまとめ（素案）検討

7月中下旬 中間とりまとめ決定

### 2. その他

「官製市場・民間開放委員会」以外の個別WGについても、早急に立ち上げ、検討を進めるべき。

以上